

大田原市

【事業の名称・プログラム区分】

事業の名称：特定高齢者把握調査

プログラム区分：特定高齢者把握事業

1 本事業の特徴

【事業概要】

地区民生委員の個別訪問で、生活機能低下の発見のために基本チェックリストを使用し、特定高齢者になる可能性が高い高齢者を把握する。

調査対象：平成18年度 65歳以上ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯

75歳以上介護保険利用を除いた高齢者

平成19年度 75歳年度到達者

調査期間：5月1日～5月31日

調査結果：平成18年度 5,692名配布 5,504名回収（96.7%）

平成19年度 720名配布 708名回収（98.3%）

【特徴的部分】

各地区民生委員が対象者を個別訪問し、生活機能低下の発見のために「基本チェックリスト」の調査を実施した（一次調査）。それにより、特定高齢者の候補者を選定し、確認の訪問を実施した（二次調査）。

2 自治体の概要

【人口、高齢化率、特定高齢者数】（H20.1月現在）

人口：76,506人

高齢化率：20.7%（高齢者人口 15,836人）

特定高齢者数：787人（対高齢者比 5%）

【圏域数、地域包括支援センター数】

圏域数：3圏域

包括数：3か所（委託・公設民営型）

3 事業の体制づくり

【直営（担当課）or委託（委託事業者）】

直営により実施。（担当課：高齢いきがい課介護予防係）

関係機関：地域包括支援センター・基幹型支援センター（直営）

【事業従事者】

介護予防係（保健師・看護師・管理栄養士・理学療法士）、健康課（保健師）、
介護予防実践指導員（委嘱）

【特定高齢者選定基準】

民生委員調査終了後、基本チェックリストを確認し特定高齢者の選定をする。
その基準は閉じこもり予防・支援を視点に優先度を決定した。

優先度の設定

優先度1：閉じこもり予防・支援＋（「運動器の機能向上」、「認知症予防・支援」）

優先度2：閉じこもり予防・支援＋（「栄養改善」、または、「口腔機能の向上」、または、「うつ予防・支援」）

優先度3：非閉じこもりで、3項目以上

優先度4：基本チェックリスト 18～20、または、21～25 すべての該当者

優先度5：その他気になる高齢者

※優先度 1・2 は生活不活発病が始まっている可能性が高い、優先度 3 は身体能力の低下から閉じこもりへとつながりやすく、そこから生活不活発病になる可能性が高い、優先度 4 は病気の可能性が高いため、早期発見・早期治療を目的とした。

4 事業の実施状況

【訪問状況】

- ・特定高齢者787人のうち優先度1・2の351人に対して確認の訪問を実施。

【介護予防事業参加者数】

- ・67名 通所型介護予防事業参加者：39名
訪問型介護予防事業参加者：28名

5 事業の評価・課題

【事業の効果】

- ・地域を把握している民生委員による調査のため高回収率であり、その他の情報も入り各サービスの利用へつながった。
- ・基本チェックリストの内容の確認・生活状況、身体状況の確認をとるために、スタッフが共有できるように、確認事項チェックリストを作成し、基準を統一した。
- ・介護予防プログラムへの参加が望ましいと判定された者を「特定高齢者」として正確に把握できた。

【事業の課題】

- ・特にひとり暮らしの高齢者の場合は、調査に対しての理解が得られず、候補者になっても事業参加までつなぐのに、訪問の回数や説明に時間を要した。
- ・地域によって民生委員の活動に格差があり、把握状況にも差がみられた。
- ・地域の高齢者の状態を知るいい機会であったが、調査の前に事前説明をし、質問内容について民生委員に理解を得るべきであった。

問合せ先

大田原市保健福祉部高齢いきがい課

☎0287-23-8740 FAX0287-23-4521